

## 2026年度 福井大学 遠赤外領域開発研究センター 共同研究 公募案内

電磁波の未開拓周波数領域として残され、21世紀のフロンティア研究領域である遠赤外／テラヘルツ領域において、光源・検出器技術を中心に、現在急速にその応用／利用技術が発展しつつあります。このような情勢において、遠赤外／テラヘルツ波領域の戦略的開発研究のため、わが国の研究拠点の形成が求められています。福井大学遠赤外領域開発研究センター（以下、遠赤センター）は、このような要請に応え、遠赤外領域の高出力光源開発と遠赤外領域高出力光源を用いた応用研究、広帯域テラヘルツ分光計測等の研究を展開する拠点形成を目指し、2011年度より遠赤センターの設備・装置を利用して、学内外の研究者と共同で遠赤外／テラヘルツ領域の研究開発を実施するための公募型共同研究を開始しました。2021年度には従来の共同研究を一般共同研究とし、それに加えて重点共同研究の募集を開始しました。本年度の共同研究課題は以下の要領で公募します。

### ○一般共同研究

重点共同研究テーマに限らず、上記の趣旨に沿って広く共同研究課題を募集しています。旅費と少額の消耗品費を申請できます。

### ○重点共同研究

本年度も重点共同研究として、「社会的インパクトの創出」(※)に資する研究課題を募集します。2026年度は、重点共同研究0～2件(1件あたり消耗品費上限25万円)の採択を予定しています。重点共同研究として申請した課題で不採択となったものも、一般共同研究として申請したとみなしますので、重点共同研究・一般共同研究両方で申請する必要はありません。なお、重点共同研究の継続採択は2年度までとさせていただきます。

※社会的インパクトに関する資料は下記の国内共同研究ホームページに公開しています。

### ○共同研究課題の採択及び公開

共同研究を公正かつ円滑に実施するため、遠赤センター運営委員会のもとに共同研究委員会が設けられています。共同研究課題の採択・共同研究経費の配分は、共同研究委員会によって行われます。2017年度から、共同研究委員会に学外委員を加え、より広い見地から共同研究の企画・運営をしています。また、2017年度より共同研究経費の配分方法が変わっています。詳しくは、遠赤センターホームページの共同研究要項をご確認ください。

採択されました共同研究課題は、遠赤センターのホームページ上で公開します。年度末には成果報告書を提出していただき、遠赤センター研究成果報告書

「遠赤外領域開発研究」に掲載することにより共同研究の成果として公表します。また、共同研究成果報告会等で発表をお願いする場合があります。成果報告会で報告いただく課題につきましては、採択通知時にお知らせします。

なお、応募に際しては、申請者の所属長の承認を得ているものとします。

#### ○重要日程

2026 共同研究申請書提出期限	2026年4月30日(木)16時必着
2026 共同研究課題採択の通知	2026年5月29日(金) (予定)
2026 共同研究開始日	採択通知日の翌日
2026 共同研究成果報告会	2027年3月4日(木) 午後 (予定)
2026 報告書提出期限	2027年3月31日(水)16時必着

#### ○国内共同研究ホームページ

新：<https://dinosaur.fir.u-fukui.ac.jp/>

→ メニューの「共同研究」→「国内共同研究」からお進みください。各種情報が掲載されております。

#### ○共同研究への申請

遠赤センター共同研究の申請は、共同研究申請書（様式A）により申請してください（必ず本年度用の様式をご利用ください）。その際、遠赤センター内の世話人を決め、事前に十分な打ち合わせを行ってから申請してください。世話人の心当たりがない場合には下記までお問い合わせください。本案内に掲載されている共同利用設備の一覧、および、ウェブ掲載の「共同研究要項」もご参照のうえ、申請を準備してください。一人の研究代表者からの申請は一件のみ受け付けます。

#### （共同研究公募相談先）

藤井 裕（遠赤外領域開発研究センター共同研究委員）

TEL: 0776-27-8679, FAX: 0776-27-8770

E-mail: [yfujii\(ABC\)fir.u-fukui.ac.jp](mailto:yfujii(ABC)fir.u-fukui.ac.jp) ((ABC)は@に置き換えてください)

#### ○共同研究の実施に当たっての注意点

- ・ 申請した研究課題が採択された場合には、遠赤センターの定める共同研究要項に従って研究を実施してください。
- ・ 研究に学生（研究生も含む）が参加する場合には、「学生教育研究災害傷害保険」またはそれと同等の傷害保険に加入してください。名誉教授など所属をお持ちでない方も上記と同等の傷害保険に必ず加入してください。

- ・ 研究参加者は全員、各自の所属機関で研究倫理教育を受講してください。共同研究の代表者は、このことを確認してください。
- ・ 共同研究の代表者は成果報告書を必ず提出してください。報告書は日本語・英語どちらでもかまいません。報告書のレイアウトは別紙 B1（和文用）または別紙 B2（英文用）をご参照ください。
- ・ 共同研究の成果を新聞発表、プレスリリース等される場合は、事前に世話人にご相談ください。

#### ○共同研究申請書、成果報告書の提出方法

共同研究申請書、成果報告書は、研究代表者から下記提出先まで電子メールに添付して提出してください。各フォーマットは上記ホームページからダウンロードできます。

（申請書、報告書の提出先）

福井大学研究・地域連携推進部研究推進課研究総務（研究施設）

（福井大学遠赤センター共同研究事務担当）

E-mail: firdm(ABC)ml.u-fukui.ac.jp（(ABC)は@に置き換えてください）

(TEL: 0776-27-8017, FAX: 0776-27-9742)

送付の際、電子メールの件名は以下のようにしてください。

共同研究申請書提出の時 “2026 遠赤センター共同研究申請+研究代表者名”

例 2026 遠赤センター共同研究申請遠赤太郎

成果報告書提出の時 “2026 遠赤センター共同研究成果報告+研究代表者”

例 2026 遠赤センター共同研究成果報告電波二郎

#### ○遠赤センター共同利用設備

1. ジャイロトロン FU CW GV (160 GHz~265 GHz 間で~10 点, 1 kW, CW or pulse)
2. ジャイロトロン FU CW GVIB (460 GHz, 420 GHz, 210 GHz, 10 W, pulse)
3. ジャイロトロン FU CW GVII (422 GHz, 376 GHz, 335 GHz, 297 GHz, 30 W, pulse)
4. ジャイロトロン FU CW VIIB (154 GHz, 150 W, pulse)及びミリ波磁気共鳴システム (17T-SCM, 5-300 K) \*マグネット, ジャイロトロンは個別での利用も可能。
5. ジャイロトロン FU CW CI (108-394 GHz, 9-650 W, pulse)
6. 遠赤外分子レーザー装置 (119  $\mu$ m において 100 mW)
7. THz-TDS 分光装置 (0.1 THz~3 THz)

8. フェムト秒レーザー再生増幅器 (40 fs, 800 nm, 1 kHz 繰り返し, 3 mJ/pulse)
9. 磁気共鳴システム (15T-SCM, 5-300 K) (5番のジャイロトロンあるいは他の光源との組み合わせで使用可能)
10. テラヘルツ ESR 装置 (下記 11~13 番を組み合わせで使用。他の光源の使用については要相談。)
11. 9 T 超伝導マグネット (1.5 K-200 K 温度可変インサート付き) 及び希釈冷凍器 (最低温度 0.1 K 程度, 詳細は要相談)
12. テラヘルツ・ベクトルネットワークアナライザー (ダイナミックレンジ, W-band 70 dB 以上, D-band 70 dB 以上, 200 GHz 100 dB 以上, 400 GHz 100 dB 以上, 800 GHz 50 dB 以上)
13. マルチプレイヤーチェーン発振器 (Virginia Diodes 社, WR10SGX-M (75-110 GHz, 17 dBm) および WR6.5SGX-M (110-170 GHz, 15 dBm), 前者に以下のマルチプレイヤーを付加可能: WR5.1x2 (140-220 GHz), WR3.4x3FUHP (220-330 GHz), WR2.2x2 (330-440 GHz), WR1.5x3S (500-660 GHz))
14. フーリエ変換核磁気共鳴装置 (11 番と組み合わせで使用。5-400 MHz)
15. フーリエ変換赤外分光光度計 (日本分光 FT/IR-6X, 測定波数範囲 7800~350  $\text{cm}^{-1}$ , 最高分解 0.25  $\text{cm}^{-1}$ )
16. 電波暗室 (ミリ波から THz において, 遮蔽性能 100 dB, 吸収体性能 45 dB)